

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項

〔1〕 経済活力の向上の必要性

(1) 現状分析

中心市街地の空き店舗対策としては、新規出店する事業者に対して、改装費と家賃の一部を支援するリフレッシュサポート事業を実施し、平成21年度から令和元年度までに82店舗が出店しており、平成23年度からは空き店舗数が減少傾向になっている。

また、平成22年度から中心市街地で開催していた「元気ハツラツ市」においては、令和4年度に「まちなかスクエアガーデン」に名称変更し、大垣駅通りや大垣公園、丸の内公園などの複数エリアにおいて、同日にイベントを開催することにより中心市街地の活性化に寄与しているが、商店で買い物する人が増えていないのが現状である。今後は、商店の売上げ増加につながるよう積極的な情報発信と魅力ある店舗づくりとともに、需要調査等の分析を踏まえた商店街の在り方や将来ビジョンの検討を行う必要がある。

こうした中、平成24年4月に観光交流の拠点施設となる「奥の細道むすびの地記念館」がオープンし、観光客が大幅に増加している。さらに、平成26年3月に「おくのほそ道の風景地 大垣船町川湊」が国名勝に指定されたことで今後も増加が期待できるほか、「景観遺産・四季の里」アプリにより観光施設等の周遊性を高めている。

中心市街地活性化の目標である「にぎわいの創出」を進めるためには、中心市街地内の観光施設の魅力向上と来街者の増加を図る必要がある。

このため、まちなかスクエアガーデンの開催をはじめ、奥の細道むすびの地記念館をメイン会場に展開される観光客の誘客イベントの充実、民間主導によるイベントの開催、ICTを活用した事業の取り組みを進めるなど、中心市街地内において数多くの事業を実施することで、来街者増加を図る必要がある。

さらに、トイレトレーラーを導入し、中心市街地でのイベント会場等に合わせて移動設置することにより、来訪者の利便性を図るとともに、災害時での機動的活用や防災意識の向上に資する。

(2) 経済活力の向上の必要性

これらの現状を踏まえ、中心市街地活性化の目標である「にぎわい創出」の一つであるまちなか商業の活性化を図るため、次の事業を基本計画に位置付ける。

商業施設の整備 : 郭町東西街区都市再生区画整理事業
中心市街地リフレッシュサポート事業
中心市街地個店魅力アップ事業

大垣駅南前地区市街地再開発事業

商店街の魅力再生：プレミアム付商品券発行事業

商店街魅力向上事業

ハツラツ店舗支援事業

中心市街地リノベーション推進事業

大垣地域経済戦略推進事業

西美濃観光地域づくり推進事業

中心市街地協働型まちづくり事業

えきまえスクエアパーティ

デジタル版プレミアム付商品券発行事業

デジタル地域通貨「ガキペイ」活用推進事業

イベントの開催・支援：まちなかスクエアガーデン事業

城下町大垣イルミネーション事業

水の都おおがきたらい舟、水の都おおがき舟下り

おおがきマラソン事業

芭蕉蛤塚忌全国俳句大会事業

中心市街地にぎわいづくり事業

城下町大垣きもの園遊会事業

芭蕉祭事業

ラジオ情報発信事業

発明くふう展／未来の科学の夢絵画展事業

多目的交流イベントハウス管理事業

かがやきライフタウン大垣推進事業

市民向けデジタル講座

のりものフェア

大垣まつり

水都まつり、十万石まつり

オオガキストリートフェスティバル事業

まちなかテラス推進事業

水都大垣再生プロジェクト推進事業

街のアーティストフェスタ事業

水の都おおがきたらい舟川遊び

子どもの職業・社会学習体験機会創出事業

観光施設の魅力向上：観光客誘客促進事業

ふるさと大垣観光ボランティアガイド事業
 西美濃観光案内所事業
 蕉風丸管理事業
 奥の細道むすびの地記念館展示事業
 守屋多々志作品及び市所蔵美術品の整備、修復
 4館共通入館券発行事業
 美濃路大垣宿本陣跡管理事業
 観光情報発信事業

(3) フォローアップの考え方

毎年度、基本計画に位置付けた事業の進捗状況の調査を行い、着実な推進を図る。
 また、中心市街地活性化状況や目標指標への効果を把握し、必要に応じて事業の推進等の改善措置を講ずる。

[2] 具体的事業の内容等

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業等

該当なし

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 中心市街地リフレッシュサポート事業 【内容】 店舗改装費及び賃借料を補助する。 【実施時期】 平成8年度～	大垣市	【位置付け】 市が支援する事業で、中心市街地内の空き店舗の解消を図る事業として位置付けられる。 【必要性】 中心市街地の活性化につながり、空き店舗の解消および通行量の増加が見込まれる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和8年3月	区域内

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 中心市街地個店魅力アップ事業 【内容】 老朽化した商店街の店舗の改装費を補助する。 【実施時期】 平成20年度～	大垣市	【位置付け】 市が支援する事業で、商店街の老朽化した店舗を改装し、中心市街地の魅力向上を図る事業として位置付けられる。 【必要性】 中心市街地の商業の活性化につながり、にぎわい創出が見込まれる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和8年3月	区域内
【事業名】 プレミアム付商品券発行事業 【内容】 商店街での買い物促進を図るためプレミアム付商品券を発行する。 【実施時期】 平成11年度～	大垣市 商店街振興組合連合会	【位置付け】 商店街でお得に使用できる商品券発行により消費拡大を促進し、商店街の活性化を図る事業に位置付けられる。 【必要性】 中心市街地の商店等のにぎわい創出につながり、歩行者等の通行量の増加が見込まれる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和7年3月	区域内

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 まちなかスクエアガーデン事業 【内容】 大垣駅通り等で毎月イベントを開催する。 【実施時期】 平成22年度～	大垣市商店街振興組合連合会	【位置付け】 市民団体やNPO法人と連携して、大垣駅通りや大垣公園、丸の内公園などの複数エリアにおいて、同日にイベントを開催することにより、ウォーカブルなまちとして中心市街地の活性化や、交流人口の拡大に繋げる事業として位置付けられる。 【必要性】 中心市街地への集客およびにぎわい創出につながり、歩行者等の通行量の増加が見込まれる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和8年3月	区域内
【事業名】 商店街魅力向上事業 【内容】 商店街の空き店舗撲滅のためのマッチングや、商店街の情報発信等を行う。 【実施時期】 令和3年度～	大垣市商店街振興組合連合会	【位置付け】 中心市街地内の空き店舗における貸し手と借り手とのマッチング支援や、商店主による「まちゼミ」を開催し、空き店舗の解消と魅力向上を図る事業として位置付けられる。 【必要性】 中心市街地の商業の活性化につながり、にぎわい創出と空き店舗の解消が見込まれる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和8年3月	区域内

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 城下町大垣イルミネーション事業 【内容】 中心市街地にイルミネーションを実施する。 【実施時期】 平成15年度～	城下町大垣イルミネーション実行委員会	【位置付け】 毎年、中心市街地をイルミネーションで装飾するイベントで、中心市街地のにぎわいを創出する事業として位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、通行量の増加が見込まれる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和8年3月	区域内
【事業名】 水の都おおがきたらい舟 【内容】 観光イベントを実施する。 【実施時期】 平成15年度～	大垣観光協会	【位置付け】 大垣城の外堀である水門川にたらい舟を浮かべ川下りを行うイベントで、観光客の誘客促進を図る事業として位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、通行量の増加が見込まれる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和8年3月	区域内

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 水の都おおがき舟下り 【内容】 観光イベントを実施する。 【実施時期】 平成23年度～	大垣観光協会	【位置付け】 大垣城の外堀である水門川を舟で下るイベントを行い、観光客の誘客促進を図る事業として位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、通行量の増加が見込まれる事業である。	中心市街地 活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和8年3月	区域内
【事業名】 芭蕉蛤塚忌全国俳句大会 【内容】 表彰や記念講演会等を実施する。 【実施時期】 昭和60年度～	大垣全国俳句大会実行委員会	【位置付け】 毎年、芭蕉蛤塚忌にちなんだ俳句の全国大会を開催するもので、全国から俳句愛好者の集客を図り、にぎわいを創出する事業に位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、通行量の増加が見込まれる事業である。	中心市街地 活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和8年3月	区域内

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 おおがきマラソン事業 【内容】 中心市街地を発着地点としたハーフマラソン大会を開催する。 【実施時期】 平成28年度～	おおがきマラソン実行委員会	【位置付け】 これまで浅中公園を中心に実施されていた「水都おおがきハーフマラソン」と新年に実施されていた「城下町おおがき新春マラソン」を、本市の中心市街地を発着地点とした、市内の名所を巡るハーフマラソンとし、中心市街地商店街等との連携の下、市民の健康増進、交流人口の増加、商店街の活性化を図るための事業として位置づけられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、通行量の増加が見込まれる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和8年3月	区域内外
【事業名】 かがやきライフタウン大垣推進事業 【内容】 市民活動団体の成果発表などを行う。 【実施時期】 平成21年度～	大垣市	【位置付け】 中心市街地内にある「大垣城ホール」をメイン会場に、市民活動団体や生涯学習団体が日頃の活動成果を披露するとともに、来場者が新たな活動の場を発見し、地域活動や社会参加へのきっかけとするイベント（かがやき活動紹介、体験工房、ステージ発表など）を開催し、中心市街地のにぎわい創出と回遊性向上を図る事業として位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、通行量の増加が見込まれる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和8年3月	区域内

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 大垣まつり 【内容】 5月に開催される美濃地方を代表する祭礼行事。 【実施時期】 慶安元年（1648）～	大垣まつり実行委員会	【位置付け】 5月に開催される大垣まつりは、平成27年3月2日に「大垣祭の軸行事」として国の重要無形民俗文化財に指定され、平成28年12月に全国32件の祭礼行事とともに「山・鉦・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録されたため、今後にもぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する祭礼行事である。 【必要性】 来街者の増加につながり、通行量の増加が見込まれる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和8年3月 	区域内
【事業名】 水都まつり 【内容】 中心市街地で行われる夏まつり 【実施時期】 昭和23年～	水都まつり実行委員会	【位置付け】 8月初旬に開催される水都まつりは、大垣駅通りや各商店街で行われる大垣の夏を彩るまつりで、盆踊りなど各種イベントや、商店街が華やかな七夕飾りで彩られるなど、商店街等へのにぎわいを創出する事業として位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加や商業の活性化につながり、通行量の増加が見込まれる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和8年3月 	区域内

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 十万石まつり 【内容】 大垣藩の城主を祀る常葉神社の例祭を起源とするまつり。 【実施時期】 昭和30年～	十万石まつり実行委員会	【位置付け】 10月第2日曜に開催される十万石まつりは、少年団パレードや、大人や子ども、企業などの参加者による神輿の練り歩きが行われ、多くの市民等が参加するため、中心市街地におけるにぎわいを創出する事業として位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、通行量の増加が見込まれる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和8年3月 	区域内
【事業名】 西美濃観光案内所事業 【内容】 大垣駅において西美濃地域の観光案内を行う。 【実施時期】 平成30年度～	大垣観光協会	【位置付け】 大垣駅内において大垣をはじめとする西美濃の観光案内をすることで、来街者へのサービス向上と回遊性を高め、にぎわいを創出する事業として位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、通行量の増加が見込まれる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和8年3月	区域内

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 ラジオ情報発信事業 【内容】 駅前イベントにおいてラジオ公開放送を実施する。 【実施時期】 平成22年度～	大垣観光協会	【位置付け】 まちなかスクエアガーデンなどのイベント会場においてラジオ公開録音を実施することにより、にぎわいを創出する事業として位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、通行量の増加が見込まれる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和8年3月	区域内
【事業名】 城下町大垣きもの園遊会事業 【内容】 着物で中心市街地を散策するイベントを開催する。 【実施時期】 平成22年度～	大垣観光協会	【位置付け】 中心市街地を着物で散策し、各店舗においておもてなしを受けられるスタンプラリーを開催することで、各個店への集客を図り、にぎわいを創出する事業として位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、通行量の増加が見込まれる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和8年3月	区域内

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 オオガキスト リートフェス ティバル事業 【内容】 大垣駅通りで 交通規制を行 い、イベント を開催する。 【実施時期】 令和5年度～	大垣市 商店街 振興組 合連合 会	【位置付け】 手作り雑貨や衣料品・食品等の販売、 西美濃地域の企業による物販や展示等 により、中心市街地のにぎわいを創出 する事業に位置付けられる。 【必要性】 中心市街地への集客およびにぎわい 創出につながり、歩行者等の通行量の 増加が見込まれる事業である。	中心市街地 活性化ソフ ト事業 実施時期 令和5年4月 ～ 令和8年3月	区域内
【事業名】 まちなかテラ ス推進事業 [再掲] 【内容】 公共空間にお ける、テラス 席の設置や物 品販売等を支 援するととも に、大垣駅通 りや公園、広 場等を利用し たイベントを 開催する。 【実施時期】 令和2年度～	大垣市	【位置付け】 大垣駅通り等において、事業者のテ ラス席設置や物品販売等を支援すると ともに、公園、広場等を利用したイベ ントを開催することで、中心市街地の にぎわいを創出する事業に位置付けら れる。 【必要性】 中心市街地への集客およびにぎわい 創出につながり、歩行者等の通行量の 増加が見込まれる事業である。	【支援措置】 中心市街地 活性化ソフ ト事業 【実施時期】 令和5年4月 ～ 令和8年3月	区域内

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 水都大垣再生プロジェクト推進事業 〔再掲〕 【内容】 「水都大垣」を感じられるまちなかの整備や水辺を活用したイベント等を開催する。 【実施時期】 令和5年度～	大垣市	【位置付け】 「水都大垣」を感じられるまちなかをつくるため、大垣駅南口の井戸舟や「四季の路」の整備を行う。また、河川空間を活用したイベント「かわまちテラス」等を官民協働で実施することで、中心市街地のにぎわいを創出する事業に位置付けられる。 【必要性】 中心市街地への集客およびにぎわい創出につながり、歩行者等の通行量の増加が見込まれる事業である。	【支援措置】 中心市街地活性化ソフト事業 【実施時期】 令和5年4月～ 令和8年3月	区域内 中心市街地活性化ソフト事業の対象はイベント実施に係る経費とし、井戸舟や四季の路の整備についてはその対象としない

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 水都大垣再生プロジェクト推進事業 〔再掲〕 【内容】 「水都大垣」を感じられるまちなかの整備や水辺を活用したイベント等を開催する。 【実施時期】 令和5年度～	大垣市	【位置付け】 「水都大垣」を感じられるまちなかをつくるため、大垣駅南口の井戸舟や「四季の路」の整備を行う。また、河川空間を活用したイベント「かわまちテラス」等を官民協働で実施することで、中心市街地のにぎわいを創出する事業に位置付けられる。 【必要性】 中心市街地への集客およびにぎわい創出につながり、歩行者等の通行量の増加が見込まれる事業である。	【支援措置】 中心市街地再活性化特別対策事業 【実施時期】 令和6年度～令和7年度	

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 デジタル版プレミアム付商品券発行事業 【内容】 商店街での買い物促進及びD X化を図るためデジタル版プレミアム付商品券の発行及び販促物等を制作。 【実施時期】 令和6年度～	大垣市商店街振興組合連合会	【位置付け】 商店街でお得に使用できるデジタル版プレミアム付商品券発行により消費拡大及びD X化を促進し、商店街の活性化を図る事業に位置付けられる。 【必要性】 中心市街地の商店等のにぎわい創出につながり、歩行者等の通行量の増加が見込まれる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和7年4月～ 令和8年3月	区域内 ※販促物の制作等のイベント実施に関する経費のみ対象
【事業名】 水の都おおがきたらい舟川遊び 【内容】 観光イベントを実施する。 【実施時期】 令和5年度～	大垣観光協会	【位置付け】 四季の広場でたらい舟乗船体験を行うイベントで、観光客の誘客促進を図る事業として位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、通行量の増加が見込まれる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和7年4月～ 令和8年3月	区域内

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 子どもの職業・社会学習体験機会創出事業 【内容】 中心市街地区域内で市内事業者等の職業体験ができるイベントを開催。 【実施時期】 令和6年度～	大垣市 市民活動団体	【位置付け】 子どもたちが、楽しみながら社会について学ぶことができる職業体験イベントの開催を契機に中心市街地へ多くの来場者が訪れることで、にぎわい創出を図る事業として位置付けられる。 【必要性】 中心市街地への集客につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。	【支援措置】 中心市街地活性化ソフト事業 【実施時期】 令和7年4月～ 令和8年3月	区域内

②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 デジタル版プレミアム付商品券発行事業 〔再掲〕 【内容】 商店街での買い物促進及びD X化を図るためデジタル版プレミアム付商品券の発行及び販促物等を制作。 【実施時期】 令和6年度～	大垣市 商店街振興組合連合会	【位置付け】 商店街でお得に使用できるデジタル版プレミアム付商品券発行により消費拡大及びD X化を促進し、商店街の活性化を図る事業に位置付けられる。 【必要性】 中心市街地の商店等のにぎわい創出につながり、歩行者等の通行量の増加が見込まれる事業である。	デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ） 実施時期 令和6年度	

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 デジタル地域通貨「ガキペイ」活用推進事業 【内容】 市独自の地域通貨「ガキペイ」によるポイント付与事業を実施する。 【実施時期】 令和6年度～	大垣市	【位置付け】 市民の行動変容、行政参画を促進するため、各種イベントの参加者等に対しポイントを付与することで、地域経済の活性化を図る事業に位置付けられる。 【必要性】 中心市街地のイベント等への参加を促すことでにぎわい創出につながり、歩行者等の通行量の増加が見込まれる事業である。	デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ） 実施時期 令和6年度	

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 水都大垣再生プロジェクト推進事業 〔再掲〕 【内容】 「水都大垣」を感じられるまちなかの整備や水辺を活用したイベント等を開催する。 【実施時期】 令和5年度～	大垣市	【位置付け】 「水都大垣」を感じられるまちなかをつくるため、大垣駅南口の井戸舟や「四季の路」の整備を行う。また、河川空間を活用したイベント「かわまちテラス」等を官民協働で実施することで、中心市街地のにぎわいを創出する事業に位置付けられる。 【必要性】 中心市街地への集客およびにぎわい創出につながり、歩行者等の通行量の増加が見込まれる事業である。	【支援措置】 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金） 【実施時期】 令和7年度	

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 郭町東西街区都市再生区画整理事業 [再掲] 【内容】 老朽化した建物を更新し、店舗・宅地区画を設定する。 地区面積：1.4ha 【実施時期】 平成20年度～	大垣市	【位置付け】 大垣城の東側に位置する当地区は、建物の老朽化が著しく、建物の更新が求められている。 大垣城を軸とした歴史的景観と調和がとれたにぎわい交流拠点として、魅力のある市街地形成を図る事業と位置付けられる。 ・進捗状況 平成30年度 土地区画整理事業 都市計画決定 【必要性】 中心市街地の魅力向上が図られ、にぎわい創出とまちなか居住の推進に資する事業である。	社会資本整備総合交付金（都市再生区画整理事業） [未調整] 実施時期 令和3年度～ 令和7年度	
【事業名】 大垣地域経済戦略推進事業 【内容】 ビズモデル型支援センターの運営等を推進する。 【実施時期】 平成29年度～	大垣市	【位置付け】 大垣ビジネスサポートセンターの運営等を行う大垣地域経済戦略推進協議会に対し補助し、中小企業等の経営支援や、創業支援等に努めるもので、商店街の活性化を図る事業として位置付けられる。 【必要性】 商店街の魅力向上による中心市街地への集客や、空き店舗の解消に資する事業である。	地方創生推進交付金 実施時期 令和3年度	

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 大垣駅南前地区市街地再開発事業 [再掲] 【内容】 駅前の低未利用区域を高度利用し、まちなかの再生や都心居住の促進を図る 地区面積： 1.2ha 【実施時期】 令和6年度～	大垣駅南前地区市街地再開発準備組合	【位置付け】 大垣駅南前地区は、大垣駅南口から約200mに位置しているが、百貨店の空きビルや共同ビル、青空駐車場等があり、駅前でありながら低未利用な区域である。 まちなかの再生や都心居住の促進を図るとともに、安全で活気ある基盤整備を行うことで、魅力ある市街地形成を図る事業と位置づけられる。 ・進捗状況 令和4年度 準備組合設立 令和6年度 都市計画決定 【必要性】 中心市街地の魅力向上が図られ、にぎわい創出とまちなか居住の推進に資する事業である。	社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等) 実施時期 令和6年度～ 令和11年度	

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 水都大垣再生プロジェクト推進事業 〔再掲〕 【内容】 「水都大垣」を感じられるまちなかの整備や水辺を活用したイベント等を開催する。 【実施時期】 令和5年度～	大垣市	【位置付け】 「水都大垣」を感じられるまちなかをつくるため、大垣駅南口の井戸舟や「四季の路」の整備を行う。また、河川空間を活用したイベント「かわまちテラス」等を官民協働で実施することで、中心市街地のにぎわいを創出する事業に位置付けられる。 【必要性】 中心市街地への集客およびにぎわい創出につながり、歩行者等の通行量の増加が見込まれる事業である。	【支援措置】 都市構造再編集中支援事業 【実施時期】 令和7年度	

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 ハツラツ店舗支援事業 【内容】 起業家支援のため、週単位で空き店舗をお試しで利用してもらう事業へ補助する。 【実施時期】 平成25年度～	大垣商工会議所	【位置付け】 中心市街地内での新規出店を考える事業者に対し、週単位で空き店舗を貸出して、商売体験を行ってもらうもので、中心市街地への起業促進を図り、商店街の活性化を図る事業として位置付けられる。 【必要性】 中心市街地への集客につながるとともに、空き店舗の解消に資する事業である。		
【事業名】 中心市街地リノベーション推進事業 【内容】 遊休物件のリノベーションを推進する。 【実施時期】 令和元年度～	大垣市民間	【位置付け】 遊休物件のリノベーション事業に対し補助し、空き店舗への出店を促すもので、商店街のにぎわい創出に資する事業として位置付けられる。 【必要性】 中心市街地の商業の活性化につながり、空き店舗の解消に資する事業である。		

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 中心市街地にぎわいづくり事業 【内容】 中心市街地でのイベント事業を委託する。 【実施時期】 平成22年度～	大垣市	【位置付け】 市民団体等によりまちなかスクエアガーデンと同時開催するイベント事業等を市が委託するもので、中心市街地でのイベント等の開催の促進を図る事業に位置付けられる。 【必要性】 にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		
【事業名】 発明くふう展／未来の科学の夢絵画展事業 【内容】 発明くふう展を開催する。 【実施時期】 平成20年度～	一般社団法人発明協会岐阜県支部大垣支会 大垣市	【位置付け】 毎年、中心市街地で発明くふう展及び絵画展を開催するもので、中心市街地への集客を図る事業として位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 多目的交流イベントハウス 管理事業 【内容】 中心市街地にイベントや地域資源のPRをする場所を確保する。 【実施時期】 平成19年度～	大垣市	【位置付け】 中心市街地に市民によるイベントや地域資源のPRができる場所を確保するとともに市民活動に関する相談業務やイベントのサポートなどを行うことで中心市街地への集客を図る事業と位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		
【事業名】 観光客誘客促進事業 【内容】 エージェントへの観光PR活動を行う。 【実施時期】 平成19年度～	大垣観光協会	【位置付け】 観光ルートのPR及び誘客奨励助成を行うものであり、市外からの観光客の誘客促進を図る事業として位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 のりものフェア 【内容】 のりものフェアを開催する。 【実施時期】 平成24年度～	大垣市、 養老線 地域公共交通 再生協議会	【位置付け】 まちなかスクエアガーデンと同会場において、バス会社や鉄道会社と連携して「大垣市のりものフェア」を開催することにより、にぎわいを創出する事業として位置付けられる。 【必要性】 中心市街地への集客につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		
【事業名】 市民向けデジタル講座 【内容】 市民向けのデジタル講座を開催する。 【実施時期】 平成23年度～	大垣市	【位置付け】 市民生活におけるデジタル活用をキーワードに中心市街地内の公共施設で市民向け講座を開催し、中心市街地への集客を図る事業と位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 ふるさと大垣観光ボランティアガイド事業 【内容】 観光ボランティアガイドを育成する。 【実施時期】 平成11年度～	大垣観光協会	【位置付け】 地域資源の魅力等に関する情報提供や観光客と市民の交流を図るための事業として位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		
【事業名】 西美濃観光地域づくり推進事業 【内容】 商店においておもてなしが受けられる「ぷらっと西美濃」の発行等実施する。 【実施時期】 平成29年度～	西美濃観光ネットワーク	【位置付け】 商店街等でおもてなしが受けられる「ぷらっと西美濃通行手形」の発行等により来街者の回遊性を高め、経済の活性化につなげるとともに、市外からの観光客の誘客促進を図る事業として位置づけられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 奥の細道むすびの地記念館展示事業 【内容】 企画展を開催する。 【実施時期】 平成24年度～	大垣市	【位置付け】 奥の細道むすびの地記念館において企画展を開催し、中心市街地のにぎわい創出と回遊性向上を図る事業として位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		
【事業名】 守屋多々志作品及び市所蔵美術品の整備、修復 【内容】 美術品の整備、修復を行う。 【実施時期】 平成18年度～	大垣市	【位置付け】 市所蔵美術品を整備・修復を進め、重要な地域資源の価値を保全するとともに、守屋多々志美術館等の魅力向上を図り、中心市街地への集客を図る事業として位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 蕉風丸管理事業 【内容】 和船「蕉風丸」の維持管理を行う。 【実施時期】 平成19年度～	大垣市	【位置付け】 中心市街地の景観を形成する和船「蕉風丸」の維持管理を行うことで、魅力的な景観を維持し、にぎわいを創出する事業として位置付けられる。 【必要性】 中心市街地への集客につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		
【事業名】 美濃路大垣宿本陣跡管理事業 【内容】 美濃路大垣宿本陣跡の管理運営を行う。 【実施時期】 平成25年度～	大垣市	【位置付け】 中心市街地に位置する美濃路大垣宿本陣跡を観光拠点のひとつとして管理運営を行うことで、観光客の回遊性を高め、にぎわいを創出する事業として位置付けられる。 【必要性】 中心市街地への集客につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 観光情報発信事業 【内容】 観光情報誌、まち歩きマップの製作やホームページ等で観光情報を発信する。 【実施時期】 平成24年度～	大垣観光協会	【位置付け】 観光情報誌や、中心市街地周辺の駅前まち歩きマップの製作、配布やホームページ等で観光情報を発信することにより、来街者の増加を図り、にぎわいを創出する事業として位置付けられる。 【必要性】 中心市街地への集客につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		
【事業名】 芭蕉祭事業 【内容】 奥の細道むすびの地記念館周辺において、春にイベントを開催する。 【実施時期】 平成24年度～	大垣観光協会	【位置付け】 毎年、春に奥の細道むすびの地記念館イベント広場を主会場に水門川一帯で市民俳句まつりなど様々なイベントを開催し、集客を図る事業に位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 4館共通入館券発行事業 【内容】 共通入館券を発行する。 【実施時期】 平成24年度～	大垣市	【位置付け】 大垣城、郷土館、守屋多々志美術館、奥の細道むすびの地記念館の4館共通入館券を発行することで、観光客を回遊させる事業として位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		
【事業名】 中心市街地協働型まちづくり事業 【内容】 中心市街地におけるマーケティング調査や各種イベント等を実施する。 【実施時期】 平成18年度～	マイスター倶楽部他	【位置付け】 市、大垣商工会議所、大垣市商店街振興組合連合会、マイスター倶楽部が協働して、中心市街地の賑わい創出や商店街活性化を図る事業として位置付けられる。 【必要性】 中心市街地への集客につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 えきまえスクエアパーティ 【内容】 駅前の広場を利用しナイトマーケットを開催する。 【実施時期】 平成28年度～	大垣市駅前商店街振興組合	【位置付け】 大垣駅南口の水都の泉広場を利用して、ナイトマーケットを開催し、駅前商店街をはじめとする中心市街地の魅力向上と賑わい創出や商店街活性化を図る事業として位置付けられる。 【必要性】 来街者の増加につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		
【事業名】 街のアーティストフェスタ事業 【内容】 駅ピアノの設置。 【実施時期】 平成27年度～	大垣市	【位置付け】 大垣駅南北自由通路に誰でも自由に弾くことができる駅ピアノを設置することで、中心市街地の魅力向上と賑わい創出を図る事業として位置付けられる。 【必要性】 中心市街地への集客につながり、にぎわい創出を目標とする中心市街地活性化に資する事業である。		